

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	秘書企画費	152

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	秘書事務								
事業目的	市長、副市長がその職務を円滑に遂行できるようスケジュール管理や資料作成を行うとともに、栄典や表彰に関する事務を行い、市政運営の円滑化を図る。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>各課や諸団体から依頼のある行事等について、市長、副市長が滞りなく行事等に出席しその職務を遂行できるよう日程を調整、管理するとともに、適切な資料を提供する。 (市長、副市長の交際・慶弔に関するの事務と随行、各種会議での議案・要望内容の検討や作成の補佐、原稿依頼管理、決裁日程調整等)</li> <li>栄典に関する推薦や、一般表彰者及び自治功労者について把握し、その功績の顕著なものを表彰することによって市の自治の振興を促進する。 (叙勲推薦、受取事務、自治功労表彰等)</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                     <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・普通旅費、特別旅費</td> <td style="text-align: right;">118,840円</td> </tr> <tr> <td>・市長交際費</td> <td style="text-align: right;">316,650円</td> </tr> <tr> <td>・全国市長会分担金</td> <td style="text-align: right;">428,000円</td> </tr> <tr> <td>・愛知県市長会負担金</td> <td style="text-align: right;">411,000円</td> </tr> </table> </li> </ul>	・普通旅費、特別旅費	118,840円	・市長交際費	316,650円	・全国市長会分担金	428,000円	・愛知県市長会負担金	411,000円
・普通旅費、特別旅費	118,840円								
・市長交際費	316,650円								
・全国市長会分担金	428,000円								
・愛知県市長会負担金	411,000円								
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市長・副市長のスケジュール管理、資料作成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>日程調整、行催事主催者との連絡調整を行い、市長・副市長が円滑に職務を遂行できた。</li> <li>市長会事務局や市の各担当課と、市長会議、県市懇談会等の提出議案の作成・調整を行った。</li> </ul> </li> <li>●栄典や表彰に関する事務                     <ul style="list-style-type: none"> <li>表彰条例に基づき、自治功労表彰6名を表彰した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策のため例年開催の新年交礼会及び叙勲・褒章受章者祝賀会に代え叙勲受章者11名のうち4名を市役所へ招待し、祝賀会を開催した。</li> </ul> </li> </ul>								

II : 個別事業内訳

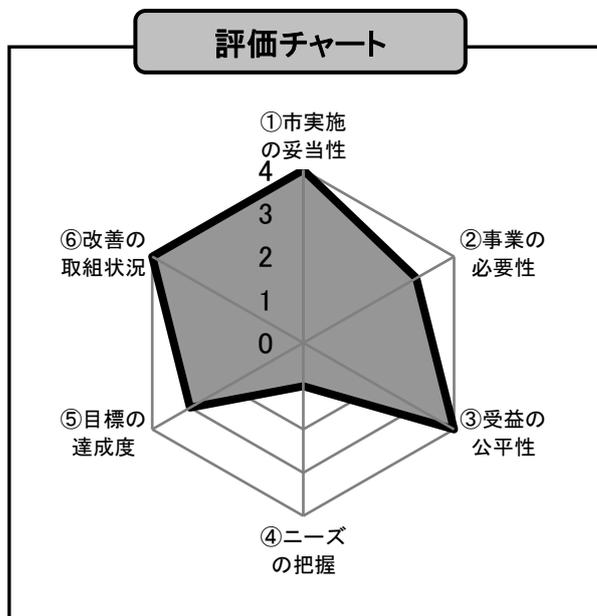
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
秘書事務	2,099	0	2,099	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,099	0	2,099	100%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		5,735	2,099	4,026
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,735	2,099	4,026
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市長・副市長の職務に直結する業務なので、市以外に実施主体はない。祝賀会は、叙勲受章者である市民の榮譽を称える業務であるため、市以外に実施主体はない。
②事業の必要性	3	市長・副市長の職務に直結する業務なので、市以外に実施主体はない。祝賀会の開催に関しては、非常時下の優先度は高くなく、評価基準「2」に相当する。
③受益の公平性	4	市長または副市長が行事や会議に出席することで、不特定だが多数の市民に影響を与えるものである。祝賀会に関しては、R2年度に限り市三役、正副議長のみの出席としたため、評価基準「1」に相当する。
④ニーズの把握	1	市長・副市長の行催事への出席に関する事業は、ニーズ調査の性質に合わないが、年々出席依頼が増加していることから、ニーズは高まってきている (R2年度は、新型コロナウイルスの影響により、行事そのものが中止・来賓なしで執り行われた) 祝賀会に関しては、アンケートを行っておらず、ニーズを把握していない。
⑤目標の達成度	3	新型コロナウイルスの影響により、予算説明書の目標・計画に記載した業務が計画通りに実施できなかったものもあるが、オンライン開催等で可能な限り実施した。(新年交礼会、市長・副市長の出席する会議、セミナーなど)
⑥改善の取組状況	4	市議会一般質問の対策として実施している内部調整会議について、作業負担とペーパーレス化の観点から、タブレット端末で関連資料を確認できる仕組みを導入した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	市長指示事項の進捗管理の運用改善に伴い、業務削減のため企画担当にて実施していた主要事業説明及びその中間報告を廃止した。慶弔事基準を改定し、市長交際費の支出の適正化を図った。
令和3年度に見直しを実施している事項	市議会一般質問の対策として実施している内部調整会議について、作業負担とペーパーレス化の観点から、タブレット端末で関連資料を確認できる仕組みを導入した。
今後見直しを検討する事項	愛知県市長会の連携事業や市長会の運営の見直しの検討について、市として対応していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
①愛知県市長会の連携事業の検討 ②市長会の負担金のあり方の検討	①県内38市で取り組む連携事業を市長会で各市の意見を集約し検討していく。 ②市長会での飲食費の適正な負担や、負担金のあり方について検討する。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	秘書企画費	152

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	企画政策
事業目的	河川空間の活性化、シティプロモーション、総合教育会議等の企画政策に係る事業を実施する。第5次総合計画で示す目指すべきまちの将来像の実現に向け、事業の進捗管理を行う。行政間連携・産学官連携のあり方などの研究・調整等を行うとともに、各事業の進捗管理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画政策事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策分野における研究・調整等の推進</li> <li>・木曾川沿いを中心とした河川空間の活性化（栗栖竹林整備、野縁公苑の利活用推進）</li> <li>・子育てや女性の活躍支援を核としたシティプロモーションの推進</li> <li>・シェアリングエコノミーの市民への周知・啓発</li> <li>・産学官連携による事業の推進</li> <li>・総合教育会議 など</li> </ul> </li> <li>○総合計画                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画、総合戦略の進捗管理</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画政策事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木等処理委託料 462,000円</li> <li>・移住・定住・交流推進支援事業助成金 505,000円</li> </ul> </li> <li>○総合計画                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷製本費（第2期いいね！いぬやま総合戦略） 326,700円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画政策                             <p>コロナ禍において、市民の安全に配慮し3密を避けるよう工夫して各施策を推進した。具体的には「河川空間全体活性化夢プラン」の改訂、シティプロモーションにつながる子育てや女性の活躍支援の講座等の実施、「オンラインいぬやま子育てシェア博2020」における駐車場シェアの紹介等。</p> </li> <li>●総合計画                             <p>令和3年度から始める第6次犬山市総合計画策定のための準備を行った。毎年度末に実施していた総合計画等に係る検証、進行管理については、翌年度当初に実施するよう変更した。</p> </li> </ul>

II : 個別事業内訳

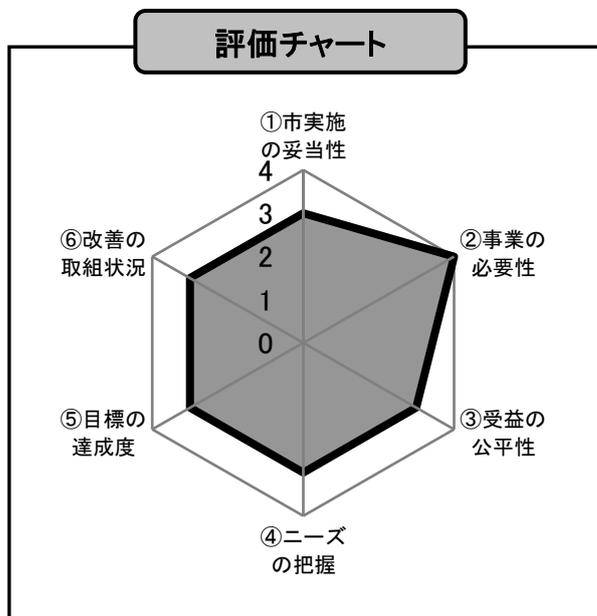
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
企画政策事務	1,534	1,142	392	26%	4	4	1
総合計画	339	0	339	100%	4	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,873	1,142	731	39%	4	4	2

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		5,475	1,873	22,395
財源内訳	国県支出金	3,005	1,142	4,027
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	6
	一般財源	2,470	731	18,362
一般財源の割合		45%	39%	82%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	計画等は市が作るものであり、他が主体となることは考えられない。計画策定以外の施策の大部分は、他自体とは異なる犬山市の魅力を磨き上げる、又は創出しようとするもの。
②事業の必要性	4	いずれも直接的な市民サービスにつながるものではない。しかし、総合計画については、市の根幹をなす計画であり、非常時や財政状況等が悪化したとしても、策定する必要がある。
③受益の公平性	3	総合計画…4、河川空間の活性化…3、子育てや女性の活躍支援…4 上記の平均を全体の評価とした。
④ニーズの把握	3	各事業の実施前または事業完了後にアンケートを実施し、各事業に対するニーズを把握している。
⑤目標の達成度	3	コロナ禍において、特にイベントについては対面での実施が困難となったが、オンラインなど実施方法を工夫することにより必要なものは実施することができた。
⑥改善の取組状況	3	河川空間活性化については、「河川空間全体活性化夢プラン」の改訂を通じて、見直しを実施した。 コロナ禍で実施が制限される中で、各事業の内容、優先度、必要性等を見直した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	総合計画等の検証、進行管理の実施時期の変更 上記については、例年年度末に実施していたが、目標値は年度単位で設定しているものが多くあり、これまでは「見込み値」を使用せざるをえなかったため、翌年度当初に実施することで「実績値」を確認できるよう変更。
令和3年度に見直しを実施している事項	子育てや女性の活躍支援の講座等については、新たに設立されたNPO法人の事業と重複する部分もあることから、NPO法人と連携して内容を見直す予定。
今後見直しを検討する事項	次年度からはじまる第6次総合計画策定においては、検証、進捗管理の手法も踏まえて計画を策定し、第6次総合計画策定を契機に検証等の手法を見直したい。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
「河川空間全体活性化夢プラン」に基づくアクションの検討	左記プランに記載した内容の実現に向けた個別課題の整理と、具体的な実現手法の整理。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	平和施策推進	152

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	平和施策推進
事業目的	平和都市宣言に基づき、学校と連携した平和学習の充実など平和活動を推進し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝える。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平和祈念パネル展の開催(市庁舎ロビー、市立図書館)</li> <li>市内小学校2校を対象に、平和祈念パネル展と戦争体験者による講話会の開催</li> <li>現在加盟している平和首長会議および日本非核宣言自治体協議会を通じて情報収集を図りつつ、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた資料提供や情報発信など関係機関との連携を進める。</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平和講話会講師謝礼 20,000円</li> <li>印刷製本費(啓発用文具名入れ) 34,500円</li> <li>日本非核宣言自治体協議会負担金 60,000円</li> </ul>
事業の成果・効果	戦争の悲惨さと平和の尊さを次代に継承し、争いのない恒久的な世界平和の実現のため、平和事業を推進している。昭和60年には「平和都市宣言」を行い、平成21年に平和首長会議、平成22年に日本非核宣言自治体協議会に加盟している。平成24年度からは毎年している市内小学校2校において実施している戦争を体験した講師による平和講話会は、時期は変更したものの例年通り開催し、次代を担う子どもたちに直接、平和の尊さを伝えることができた。また、小中学校においては、戦時中の食事を再現した学校給食(すいとん汁など)を提供し、「戦時」を体験学習する機会を設けている。

II : 個別事業内訳

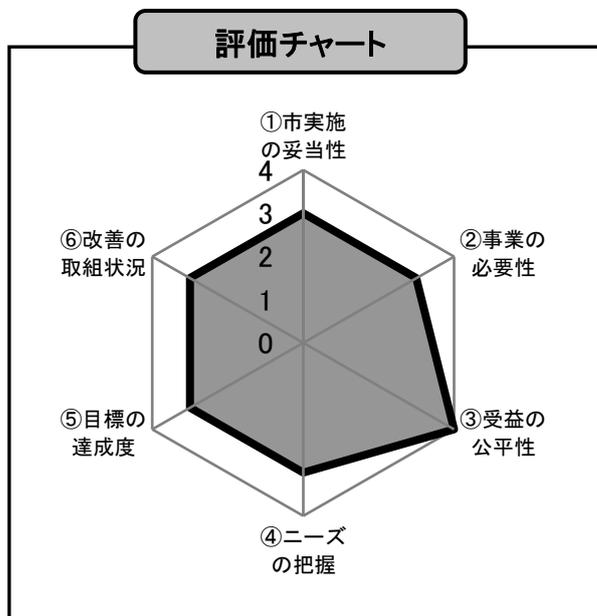
(単位:千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
平和施策推進	136	0	136	100%	4	4	1
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	136	0	136	100%	4	4	1

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		135	136	193
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	135	136	193
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	平和の尊さを次世代に伝えていくことは現代に生きる我々、とりわけ行政にとっての使命であり、積極的な取組が必要である。また、法的義務はないが、本市は昭和60年に「平和都市宣言」を行っている。
②事業の必要性	3	平和の尊さを啓発し周知することは市民の平和意識醸成につながり、市民の日常生活を支えする取組であり、事業は必須であり継続する必要がある。
③受益の公平性	4	講話会は市内の小学校を対象とした事業であり、平和祈念パネル展は市民全体を対象としている。複数の幅広い手法で展開しており、市民全体が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	平和講話会開催校においては、講話会後に感想文を書いてもらうことで、事業効果やニーズを把握している。また、県内被爆者行脚においては、愛友会より平和祈念パネルの展示を要望されており、ニーズがあると考えている。
⑤目標の達成度	3	平和講話会は、時期を変更したものの、計画どおり開催することができた。令和元年の平和祈念パネル展は、キャストや名古屋経済大学などの民間施設でも実施したが、令和2年度は新型コロナの影響を考慮し、効果の高い場所を選択して実施した。
⑥改善の取組状況	3	多額の事業費を用いることなく、最小限の費用で実施している。また、市ホームページや広報犬山等においても事業に関する積極的な情報発信を行っている。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	—
令和3年度に見直しを実施している事項	公共施設等で実施する平和祈念パネル展では、並行して平和に関する署名と、啓発グッズを配布している。 啓発グッズの配布のあり方は令和3年度に見直したい。
今後見直しを検討する事項	平和講話会の講師の高齢化が進んでいるため、新たな語り部の確保又は別の新たな手法の検討。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
平和講話会の講師は、戦争の悲惨さを知る市民に依頼して開催しているが、戦後70年以上が経過し、語り部が年々少なくなっていることから、人材確保又は平和講話会の構成の再検討が課題となっている。	新たな語り部の発掘のため、愛友会への依頼や、非核宣言自治体協議会、平和首長会議などの講師派遣事業の活用を検討する。 併せて、戦争の悲惨さを伝えるための別の手段を検討する。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	9	文書広報費	158

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	広報広聴												
事業目的	市政情報を分かりやすく発信し、市民と行政の情報共有を促すとともに、市民からの相談・意見等を受け問題の解決や市政への反映を図る。												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報 広報紙、ホームページ、SNS、広報板等を通じ市政情報を分かりやすく発信する。</li> <li>○広聴 ホームページからの意見、広聴カード、タウンミーティング等により市民の声を広く聴取し問題解決や市政への反映を図る。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報広聴事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのリニューアルによりスマートフォンでの閲覧に適したトップページとした。</li> <li>・公式LINEとあんしんメールの連携を2月から開始した。</li> <li>・ホームページからの意見、広聴カード、市民相談などを通じ市民の声を把握した。</li> <li>・わかりやすい刊行物を作成するため、職員及び市民団体を対象に「見せ方・伝え方スキルアップ」の研修動画を作成し視聴した後、個別でのクリニックを3回開催した。</li> </ul> </li> <li>○広報紙作成                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙は市民に最も身近な情報伝達媒体であるため、引き続き月2回発行した。</li> <li>・4月の緊急事態宣言時には広報号外を発行した。</li> <li>・紙面上に広告を掲載することで財源確保につなげた。</li> </ul> </li> <li>○広報板設置                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会に設置してある広報板の維持管理を行った。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>○広報広聴事務</td> <td>ホームページ保守運用委託料</td> <td style="text-align: right;">1,878,360円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ホームページリニューアル委託料</td> <td style="text-align: right;">2,387,000円</td> </tr> <tr> <td>○広報紙作成</td> <td>広報紙印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">15,288,086円</td> </tr> <tr> <td>○広報板設置</td> <td>広報板設置・改修・撤去工事請負費</td> <td style="text-align: right;">498,300円</td> </tr> </table> </li> </ul>	○広報広聴事務	ホームページ保守運用委託料	1,878,360円		ホームページリニューアル委託料	2,387,000円	○広報紙作成	広報紙印刷製本費	15,288,086円	○広報板設置	広報板設置・改修・撤去工事請負費	498,300円
○広報広聴事務	ホームページ保守運用委託料	1,878,360円											
	ホームページリニューアル委託料	2,387,000円											
○広報紙作成	広報紙印刷製本費	15,288,086円											
○広報板設置	広報板設置・改修・撤去工事請負費	498,300円											
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報広聴事務 ホームページへはスマートフォンからのアクセスが年々増加を続けており、その対応としてトップページのレイアウトなどを最適化する変更をした。合わせて掲載情報の充実（特に施設案内のページ）、問い合わせフォームの改修などを行い、目標に掲げていたユーザビリティとアクセシビリティに配慮した運用ができています。</li> <li>●広報紙作成 コロナの影響で行事が中止延期など紙面が変動する中で、適切に編集発行ができた。</li> <li>●広報板設置 令和元年度に大規模改修が終わり、町内会からの要望は少なめではあったが早めの対応ができた。</li> </ul>												

II : 個別事業内訳

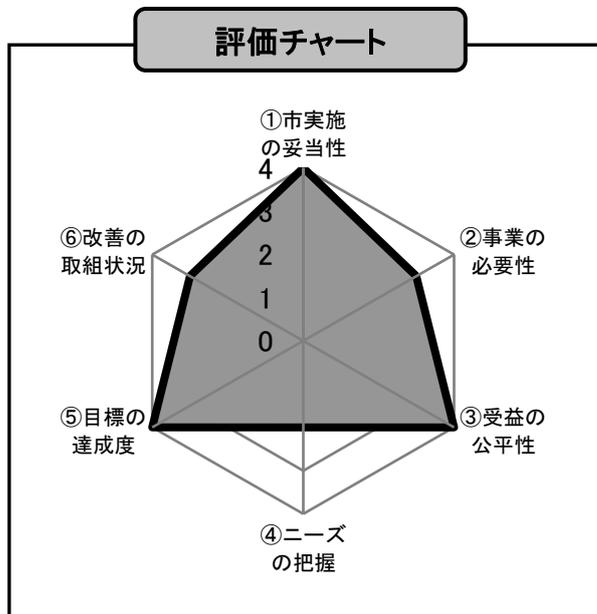
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
広報広聴事務	5,669	1,067	4,602	81%	4	3	4
広報紙作成	15,288	3,938	11,350	74%	3	3	2
広報板設置	515	0	515	100%	3	3	2
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	21,472	5,005	16,467	77%	3	3	2

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		27,357	21,472	27,301
財源内訳	国県支出金	477	427	481
	地方債	0	0	0
	その他	5,251	4,578	6,200
	一般財源	21,629	16,467	20,620
一般財源の割合		79%	77%	76%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	行政の説明責任(アカウンタビリティ)を果たすうえで不可欠なものであり、主体的かつ積極的な情報発信が必要である。
②事業の必要性	3	非常時においても、税、医療、福祉、防災等市民生活に不可欠な市政情報を市民へ提供する必要があるが、手段の変更による縮小はあり得る事業である。
③受益の公平性	4	全市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	2	令和元年度に市民意識調査、町会長アンケートの中で、広報紙関連のニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	新型コロナ関連情報の伝え方は苦慮したが、適切な手段により発信できた。令和2年度には公式LINEと安心メールの連携を開始した。
⑥改善の取組状況	3	ホームページの問い合わせフォームの修正、LINEと安心メールの連携など情報発信、分かりやすさで改善した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン表示を意識し、ホームページトップページを最適化。</li> <li>・公式LINEとあんしんメールの連携により気象情報などを即時で配信。</li> <li>・ホームページ上の問い合わせフォームで自動返信されるメールの文面に問い合わせ内容を記載するように変更。</li> </ul>
令和3年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙特集記事のあり方見せ方の検討</li> </ul>
今後見直しを検討する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報板の管理方法、適切なあり方の検討</li> <li>・広報紙の配達業務のあり方の検討</li> </ul>

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
広報紙の配布、発行回数について、各町内における担い手不足の現状や町会長の負担軽減を考慮したうえで、鮮度のある情報を広報紙として届けるため、常に最適な形を模索していく必要がある。	月1号化について、配布方法の見直しも含めて検討してきたが、令和2年度時点では、より鮮度の高い情報をできるだけ少ない時間差で提供するため、1号あたりのページ数が増え読まれにくくなることや重量の増を避けるため、月2回発行を継続していく。ただ、春日井市が令和3年4月号から月2回から月1回に変更しており、その状況を参考にしながら、行政文書の配布、町内会への委託の観点も含めて総務課、地域協働課とともに引き続き検討していく。

令和2年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	14	特別定額給付金給付事業費	168

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	特別定額給付金給付事業										
事業目的	新型コロナウイルス感染症による経済活動の急速な縮小に伴い、中小・小規模事業者やフリーランスを含む個人事業主を取り巻く環境は極めて厳しく、事業の継続や雇用の維持が危ぶまれている。この危機をしのぎ、次の段階である経済の力強い回復への基盤を築くため、全国全ての人々への新たな給付金の交付を行う。										
事業内容	<p>●特別定額給付金給付事業 一人10万円給付する。</p> <table border="0"> <tr> <td>特別定額給付金</td> <td>7,364,400,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>7,160,166円</td> </tr> <tr> <td>派遣業務委託料</td> <td>21,589,582円</td> </tr> <tr> <td>システム構築委託料</td> <td>10,890,000円</td> </tr> <tr> <td>電子計算機気借上料</td> <td>7,563,930円</td> </tr> </table>	特別定額給付金	7,364,400,000円	通信運搬費	7,160,166円	派遣業務委託料	21,589,582円	システム構築委託料	10,890,000円	電子計算機気借上料	7,563,930円
特別定額給付金	7,364,400,000円										
通信運搬費	7,160,166円										
派遣業務委託料	21,589,582円										
システム構築委託料	10,890,000円										
電子計算機気借上料	7,563,930円										
事業の成果・効果	<p>●特別定額給付金給付事業 対象市民73,794人(31,436世帯)中73,672人(31,322世帯)から申請を受けた。 5月15日から申請受付を開始し、約一月後の6月17日には69,157人(28,766世帯)へ給付し、給付率は90%を超えた。申請受理後、概ね10日以内に給付できており、速やかな給付が実現できた。</p>										

II : 個別事業内訳

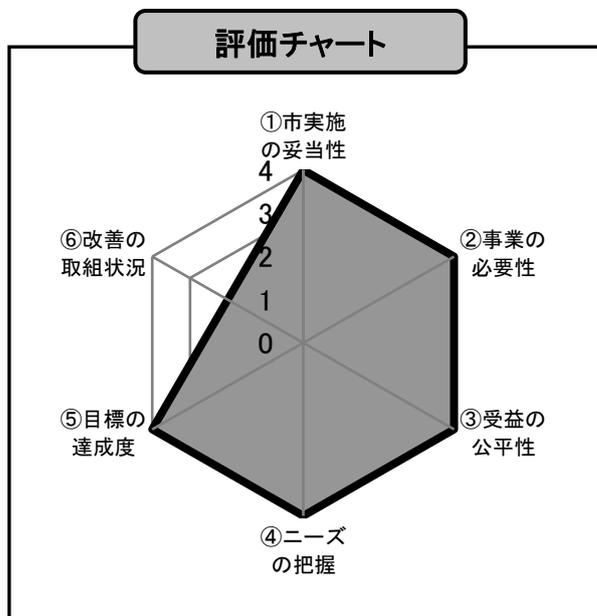
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	サービス水準
特別定額給付金給付事業	7,421,269	7,420,960	309	0%	1	1	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7,421,269	7,420,960	309	0%	1	1	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R1決算	R2決算	R3予算
		-	7,421,269	-
財源内訳	国県支出金	-	7,420,960	-
	地方債	-		-
	その他	-		-
	一般財源	-	309	-
一般財源の割合		-	0%	-



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	国策事業であり、基礎的自治体である市以外に実施主体はない。
②事業の必要性	4	国策による単年度事業であり、事業の必要性を判断する必要はない。
③受益の公平性	4	全市民を給付対象としている。
④ニーズの把握	4	事業の方向性、検証のための市民ニーズを把握する必要はないが、市民の99%以上から申請があり、ニーズは高かったと考えられる。
⑤目標の達成度	4	速やかな給付が実現できた。
⑥改善の取組状況	2	国策事業による単年度事業であり、業務の見直し、点検は必要ない。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和2年度に見直しを実施した事項	—
令和3年度に見直しを実施している事項	—
今後見直しを検討する事項	—

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和2年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
—	—